

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フォレストキッズ八事教室		
○保護者評価実施期間	令和8年2月15日		～ 令和8年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	令和8年2月15日		～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月19日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1対1でのマンツーマンの手厚い支援ができています。	外部環境による刺激の少ない個別の環境で支援を行っていること。	急な職員の欠員が発生したときに備え、職員一人一人の支援力や能力、資質向上のための研修へ積極的に参加し、保護者の方に支持される支援力の偏りを解消し、だれでも均等な支援力を身につけること。
2	必要なお子様に対し、言語聴覚士や作業療法士など、専門知識を持った職員が直接または間接的に、お子様の発達段階に合わせた支援を提供している。	専門職からその他職員へ専門知識の伝達のための社内研修を実施し、専門職が在籍していない時でも、その他の職員が専門職が作成した支援計画に基づき支援を提供できていること。	より高度な専門知識を得られるよう、外部の関係機関が実施する研修へ積極的に参加すること。
3	保護者やご家族に寄り添った保護者目線の療育を提供し、保護者支援に力を入れていること。	支援の最後に保護者の方とお話する機会を可能な限りつくり、保護者のかたに安心して支援をお任せいただく努力をしていること。また必要に応じ園へ訪問し、日常生活の課題を保護者と共に共有し、移行に向けた支援を行っている。	保育所など各関係機関との連携を強化し、お子様が抱える特性の共通理解のもとで、お子様の育ちを面で支える取組をしていくこと。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流や、きょうだい児のサポートがあまりできていない。	定期的に保護者交流会を開催しているが、スケジュールの都合上、参加できる保護者が少ない	保護者交流会や勉強会などの開催頻度を増やし、SNSなどを活用し、開催の成果を積み重ねていけば、参加を促す要因になると考えます。そして、同時にどのようなテーマで開催をすればよいか保護者のニーズに応じていく必要があります。
2	地域の子どもたちとの活動の場を共有できる機会の提供が不十分。	事業所としての取組も大切であるが、インクルーシブに対する地域社会の理解を促す環境整備も同時に必要だと痛感しています。	地域で開催する会合やイベントなどへ積極的に参加して、まず地域の子どもたちを支えている、大人同士の絆を深めていき、インクルーシブへの理解を深める環境整備に努めて参ります。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 フォレストキッズ八事教室

公表日 令和 8 年 3 月 2 0 日

利用児童数

38

回収数

25

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	2	0	0	・個別ブースはパーテーションで区切られていて集中できる環境でよいと思います。 ・広い空間にボールプールがあったり、レイアウトが工夫されていると感じます。 ・活動量が多い場合は公園等に連れて行ってくれるので良い。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25	0	0	0	マンツーマンで支援いただき、どの先生も熱心にサポートして下さいます。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	1	0	0	わかりやすくなっています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	0	0	0	・きれいに清掃されていると感じます。 ・心地よく過ごせていると感じます。	
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	1	0	0	子どもが行うこと一つ一つ細かく見て、なぜそのような行動をとるのか分析し、アドバイスをいただいています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	0	0	1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	0	0	2	本人の様子を見て計画を作成いただきました。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	2	0	2	通所開始当初と比べ、計画に載っている目標の内容がしっかりと達成できるレベルまで成長することができたと感じています。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	0	0	1	柔軟に計画を考えながら支援して下さっていると思います。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	2	0	1	・様々な教材を目的に合わせて取り入れてくれて、子ども楽しそうです。 ・毎回違う内容で工夫されていると思います。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	10	3	6	6	・こちらで通っている園とは違うお友達と活動できるので充分かと思えます。 ・土曜日しか通っていないのでわかりません。	・公園へ出かけて行った機会などを利用し、地域の子もたちと、空間を共有できるよう支援していきます。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	0	0	1		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	2	0	1	記憶があやふやです。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	3	0	1		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	25	0	0	0	支援の終わりに最近の様子を共有してる。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	3	0	0	・支援の最後に必ずフィードバックをいただいております。 ・支援の終わりに相談する等できている。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	0	0	0	・フィードバックの時に、良かったところ課題などをたくさん伝えてくれて子供をよく見てくれていると感じます。 ・子供の臨み事だけでなく親も支援していただいていると感じています。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	7	0	3	・保護者交流会ではとても勉強になり、他の保護者の方や先生とお話できて良かったです。 ・きょうだい児のイベントがあると嬉しい。	保護者交流会の開催について積極的に告知を行い、できるだけ多くの参加を呼びかけていきます。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	2	0	0	いつもの利用日以外に相談ができて助かりました。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	1	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	1	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	1	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	2	0	1	入口にヘルメット等が置いてあり、一目でわかるようになっていと感じます。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	3	0	1	避難訓練で卵の殻ふみをしていて、お家ではできないのですごく良いと思いました。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	1	0	2	・出入口の防犯対策が少し気になっています。 ・子どもの飛び出し防止のための安全柵は設けていますが、利便性も考えながら、安全対策の構築に向けて検討して参ります。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	2	0	1	事故にあったことがないのでわかりません。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	0	0	0	・先生方みなさん優しく仲良しのお友達もでき安心して過ごせていると思います。 ・最初は特定の先生のことだけ慕っていましたが、様々な先生方と交流できるように成長できました。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	1	0	0	・知育教材がたくさんあり毎回楽しみに通っています。 ・とても楽しみにしているので、その中で学ぶことが多いようです。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	0	0	0	・STの先生の指導をもっと多く受けると嬉しいです。 ・通うことで感情を伝えられるようになったり、アドバイスをもらえて満足しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		フォレストキッズ八事教室					公表日	令和 8 年 3 月 20 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	1対1の支援ができています。	・空間を最大限に利用できていると思うが、狭いと感じることがある。 ・体を最大限動かす活動を行う際しまいと感じる時がある。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	お子さんと職員が1対1の対応ができるよう体制が整っており、お子さんに合わせてお子さん1人に2人の職員がつくんど、人員配置が手厚いと感じる。	人手が足りないと感じることがある		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1			集中しやすいよう、刺激の少ない個室がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1			日々の業務を振り返る機会がなく、支援に入った個人の主観になりやすい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1			マカトンサインの講習や強度行動障害の研修を受けることができた。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1			モニタリング会議に直接支援業務に入った支援者も参加できると尚よい	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	支援に携わる職員がすぐにアクセスし情報を確認できるようになっている。	計画の共有ができて、ねらいの共有が不足し、支援の統一性に欠けることがある。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	適応行動においては、インフォーマルなアセスメントで、日々お子さんの様子、変化をとらえ朝ミーティングなどの機会でも共有している。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1			マンツーマンでの支援の際、個人での立案になりがちになっている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		年長集団療育など必要に応じて支援プログラムを立てている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	朝ミーティングやPCソフト、その他業務時間でもお子さんの姿と支援内容を共有、話し合う機会が確保されている。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1		その日のうちに記録が書ききれず、共有不足になるときがある。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		園訪問などを積極定期に行い、情報共有や意見交換を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		保護者から要望がある際に情報共有を行っている。	
	28	(28~30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	2			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0			・個別相談の時間を設けて、相談を受け付けている。 ・希望者のみで全員に対して実施できていない。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1		近くの学校へ歩行訓練に行くなど、地域に根付いた事業所であるための工夫をしている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0			